

2017年度 三橋貴風 客員教授 邦楽 特別講義

1. 日 時 : 2017年6月2日(金)13時30分～16時45分
2. 場 所 : F号館106教室
3. 対 象 学 生 : 邦楽 専攻・コース生 学内のみ他聴講可
4. 講 師 紹 介 : 三橋貴風 客員教授

東京生まれ。1980年 第1回リサイタルにおいての文化庁芸術祭優秀賞をはじめ、これまでに文化庁芸術祭大賞、大阪文化祭賞、横浜文化賞、文化庁芸術選奨文部科学大臣賞、紫綬褒章など数々受賞。

古典のみならず現代邦楽演奏の第一人者であり、これまでに東京都響・BBC交響楽団・ベルリン・ドイツ交響楽団などとも共演、世界的尺八奏者として幅広く活動している。演奏だけでなく後進の指導にも力を入れており、近年には中国や台湾でも教授活動を行っている。

現在、琴古流尺八大師範。琴古流尺八貴風会家元。

5. 講 義 概 要 : 琴古流尺八による古典と現代曲の演奏法

古典曲と現代曲という、全く異なる時代の作品を自在に操ることで評価の高い、世界的尺八奏者の三橋貴風氏による演奏と指導を通して、尺八の流派や作曲年代の違いによる曲想表現などを学ぶ。

独特の間合いと音色による古曲「末の契り」と、1970年代の現代邦楽ブームの立役者であった箏曲家沢井忠夫氏が作曲した「風の歌」を取り上げ、さまざまな年代の作品へのアプローチ方法もご指導いただく。

<主な講義内容>

- ・松浦検校作曲「末の契り」における琴古流尺八の古典奏法について
- ・都山流と琴古流の奏法・記譜・表現の違いについて
- ・古典曲と現代曲、異なる年代の作品へのアプローチ方法
- ・箏・尺八二重奏 沢井忠夫作曲「風の歌」におけるアンサンブルのポイント